

朝鮮日報

第 四 十 四 號 (報 日 鮮 朝)
第 四 十 四 號 (報 日 鮮 朝)
第 四 十 四 號 (報 日 鮮 朝)

京城通信 (午後八時)

▲京城通信 (午後八時)
▲京城通信 (午後八時)
▲京城通信 (午後八時)

戰報一東

▲戰報一東
▲戰報一東
▲戰報一東

百雜話 (五)

▲百雜話 (五)
▲百雜話 (五)
▲百雜話 (五)

武勇の譽

▲武勇の譽
▲武勇の譽
▲武勇の譽

入輸直國米
店商野林
洋行

ニプロイダーミン
動味味西
海海北

第四回國庫債券
取扱可申候
第一銀行金山支店

金山青年會幹事
解雇廣告
御得意各位

御召物新
各種品
原口三三商店

煙草製造販賣廣告
大日本政府專賣局
各種煙草

公報
(十月午後二時
十五分開事館着)

●追撃戦續て

彼等は爾かく特殊の便宜を得て公

通商品と雖も、兼島島揚屋又は天津方面より、
營口に發荷せんとするの場合、輪船運賃賣社
にては、個額又は量目によりて、密に虧限を加
へられ少量の荷物すら停滯することの實に
甚き位なるが、現年の戰爭に於ては、連戰
連敗の憂國が斯かる特典を獲得し、連戰連勝
の我國が爾かの追害を被りつゝあるに至り
ては、實に沙汰の限もと云ふべし
又、開港商人等が天津より密輸入を爲すに

密輸の真相

莫大の苦白を散じて買収す△

船を經て天津に出で五日大沽發

期正さにて殿幕に際して機關車の
便乗し本日當地に歸來せる某氏の
下に刻下五十萬鎊を下らざる敵野戰
軍の軍需品等を輸送するに不充分な
強鐵道の猶一層其輸送力を増進し
以て終は止むなくも其右翼方面に
の掠奪的徴發に依つて總額を中心
品に向ふ

六名は首加の儘去

[illegible]

御満足に 御思召さる様
迄なり益自愛國家の爲め

る。ふたを努めよとの 散旨あり
皇太子殿下の御患召電覽
村林康直^{（長）}宿長より
足利軍は日度陣務に懸奉るの季節苦
乏に御患召召されに懸奉るの季節苦
患召召する軍司令官以下將卒皆自
健康を保持し其任務を完せよと
ありたり
借款師雇入の件 英國路校艦フ
が年間預りとなりしが尙双方の協
定未だ成らず

の誕生祝日なるに上り其参賀に間
來る十三日

く、腹運は、今明日東京を發して、韓國の途
 就く由にて、其餘は李習聖、亦入府の筈也
 各、公使書記官、資
 以上、祝目の以、午
 十時を以て、各外、交官は宮中に參賀する
 となり、開れり
 外、交官、事務の件
 實中に付、重大なる外、交案件は、少しも過
 せず、暫く中止の有様、にあり、何れ、近日、沿岸
 通信機關、整理の件、及、通知、公使館、

三國公使謁見要請
我林公使は

國公使及米國公使と共に謁見した

朝廷に要請せられたり
御慰問使一行の乗車
京釜線へ

京父親の收入高
 三月一日の調査を見
 等列車の備付けなきを以て五日間一行出
 發の際はおに京仁線に用ふる一二等列車
 廿一臺つゝ繰繰へ供したり
 京仁線水登間線聯絡變更
 登間線聯絡不完全なるを以て來る四月より
 急々變更車に着手する等なるが今同は
 復線とし漢江鐵橋の如きものも無餘架換は
 へ由

の如きは非常の喝采を

被服人募集 釜山の山本純一氏は眞宗生命保險會社の被服人募集の爲め事務員高原氏博十爲氏氏と共に目下被服人募集中

●宮中の動亂

宮中に出入して聰明を發揮し以て政權を弄せんとする一派の輩は目下藩士の妖言を流布して陛下を惑はし之れがため宮中大に動搖せる次第を聞くに

殿下の千秋慶節には宜

典を聚るるにつき英漢も日本より翻譯しこれに參照する等々を以て實に其の一派と稱せられたる李容泰、金嘉福、許爲の徒は大に勢ひを得るに至れり之れより先き支門の第七許爲は日本の勢力を中傷せんとし時の執政崔を、を使成じ崔をして日韓議定書及び借款に反對の上疏を擧げしめたり其の上疏は全く許爲の手に就たりと稱せらる崔の此上疏ありて陛下の意少しく惑へる

といへるを聞き殊更らに之れを誇こがす

したるものにて固より何等の根據なき
 れども神速に敏なる宮中にはあれを聞か
 ばに恐慌を高め来れり
 臣の猖狂 以上との如くなるを以て玄
 一派の輩は近く玄の歸朝を待たて再び
 福と玄門に收めんとする野心を抱き密々
 中門を以て韓延の大臣等も若し玄門
 従ふ熱心を寄せは玄歸來後に於て自家
 地を危ういふを恐れ其位置を保護する心

益々、偶雑を極め遂に宮中に動搖を來

るに至りしもの、由

英米二公使と打揃ひ参内謁見を遂げ

願したる等に例すべきよりは此の國
 は無論何事か重大の事件あるに因るもの
 らん然るに陛下は 來不例に洩れ外國
 の臣を引ふるまよ適ひ難きを以て姑らく
 期せんばとを外部より回答し來りたりと
 國庫債券と第一銀行 第四國庫債券
 債權に關し第一銀行 第四國庫債券
 債權に當地に發せし來れり
 府政務廳奏奉 欣慶陳候者第四國庫債

製造所に於ける軍用組詰の

したる旨記載せるは誤謬にして昨日より二期にへりてなりと云ふ

柏市飲所 日休美

精舎の造影 寫眞館耕美國にては昨

清泊中の水雷艇等を撮影せられたり

風景風俗寫眞の好望 滿鐵觀察等の意

味にての豫覽者其の歸途本國への土産物

に於ては最靈驗でるが限に於ける風俗寫眞といふ

が當體に於ける風俗寫眞といふ

人物風景等の諸品類を遊覧多くなり同

●新居牛所の設置

從來一個所の屠牛所を設けむりしが時局稍
需用頗る多く常批需用を満すに至らざるを以て
先般に一ヶ所を新築中なりしが其
の工事も竣工し、屠牛所にて屠牛しつゝふ
るを以て替り需用を満すに至れりと云ふ
●第四回同九の入港 岡崎本日午前中
●○船勢九も亦組 當幸町亦組にては目下
相船なく、南韓國沿岸を航行中なる建勢
船あり、南韓國沿岸と號稱するもの計畫

主任的思想なき爲め假令大資本を

其の住居の家屋は何れも觀察局的を免れ
故に一朝火災に接して建物の建築を試み
かゝる惡態を演じつゝあり是れ植民地に
於ける現状なり今當韓國の如き既に實
に於て日本の主權中にあちを以て今後
の韓者も從來の移住者も永位的様態を爲す
を云々

釜山實地所　　今　女工を新たに數十
を加へる部制忙の林にて作業に従事つゝ
し目下一日の製出並二千個に及といふ

災火餘聞

失火の原因 失火の原因は日曜興

にや墜落して一面の火にナリしも
何人^{ある}も居合せざりし故瞬間^{ゆめほんかん}に燃

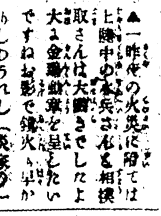
遂に大事に至りしなれどもいふ
 焼失の室屋 焼失の室屋は左の如し
 土本受負 日興興業社 報貨商橋本いち
 下駄町北井替吉 反物商沙屋友二郎 床
 屋地出浮古
 重々たる不幸 焼失者の報貨商橋本いち
 を失ひてより四十九日に至らざるに今
 焼失の不幸あり而して同家にては焼失
 日に保衛たるも切れたるにより再び加
 日災被害たるも手不足のため其運びに至

しきり
告
速御郵計被下、應有奉候
上等之紙類、中御存名
小僧以紙類、上候
方大郎
有村吉一郎
西村傳兵衛
御郵計被下、應有奉^レ候
上等之紙類、中御存名御洩
以新紙類申上候
押川時計店

●相撲取草蠻鐵

趣あり、故に觀客蔑視して重きを置かず、
 故にも何んぞ計らへ大、兵肥滿の好力工
 へめし剛の者されは某鼻下長先生が想ひ者

てあるア、火一度失して慘なりと雖亦人心を興起する事ヨ



陶山洋服店

清酒賣 長好商店

浪毛可有之故開午路儀以新紙上禮申上
辨天町三丁目袖島甚

畫潰金銀賣買並質品
其外何品三才萬價一申受之夕候
町三丁村石川路路西隣
鈴木商